

令和3年（2021年）度上期胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

令和4年（2022年）2月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和3年（2021年）度上期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は1,561人泊（前年同期比149.1%）で、前年同期と比較して514人泊の増加となりましたが、令和元年同期と比較すると416,209人泊の大幅な減少となりました（令和元年同期比 0.4%）。昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響のため新千歳空港の国際便が休止しており、わが国でも検疫強化をはじめとする水際対策の強化措置を行うなど、多くの国や地域で出入国制限が続いていることが影響しています。

【国・地域別の状況】（資料1）

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、フィリピンが359人泊で最も多く全体の23.0%を占めています。次に中国（352人泊）、アメリカ（38人泊）、香港（37人泊）、台湾（22人泊）となっています。

参考として、平成10年度からの訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移【参考資料1】と令和元年度まで宿泊者数（延べ数）の多かった主な国・地域の宿泊者数（延べ数）の推移を【参考資料2】に掲載しています。

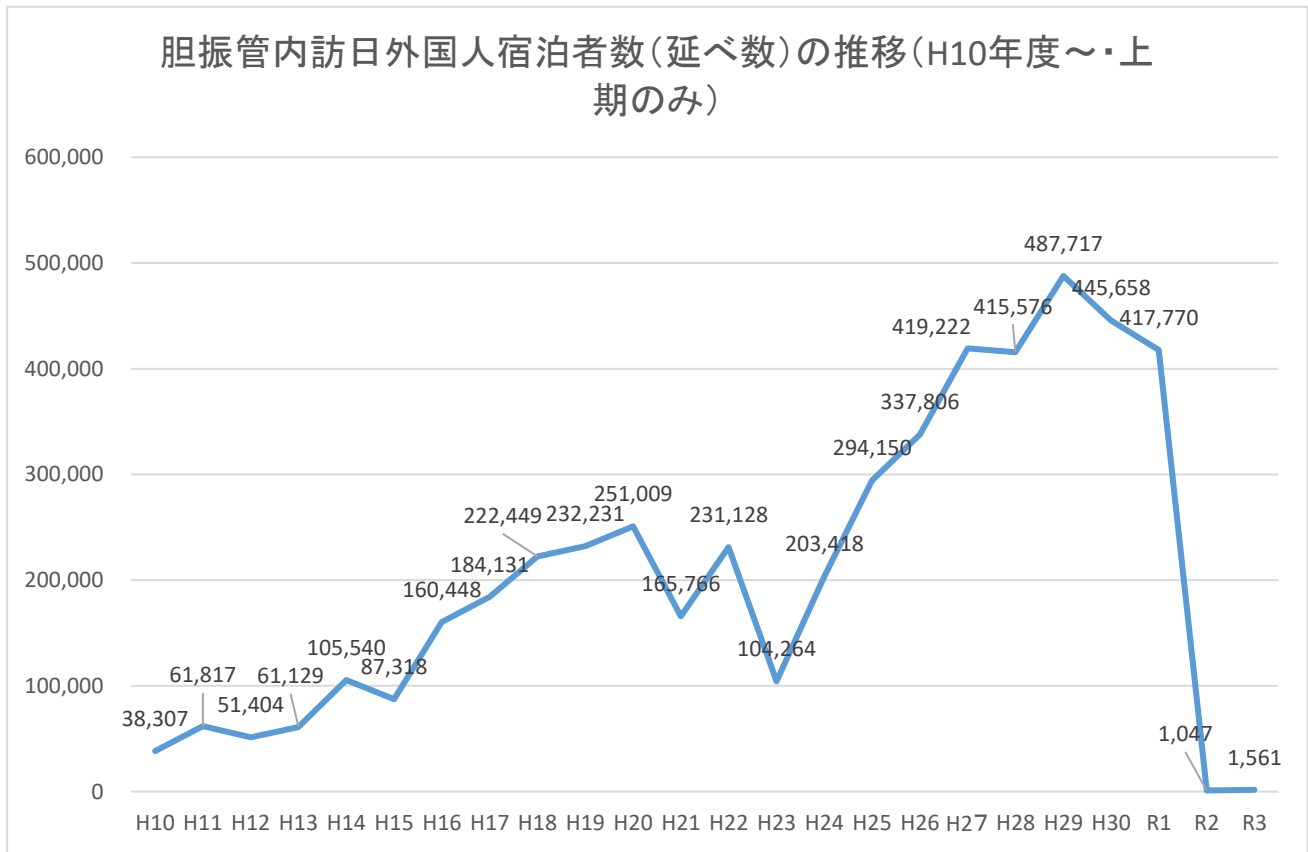
【資料1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳

（単位：人泊）

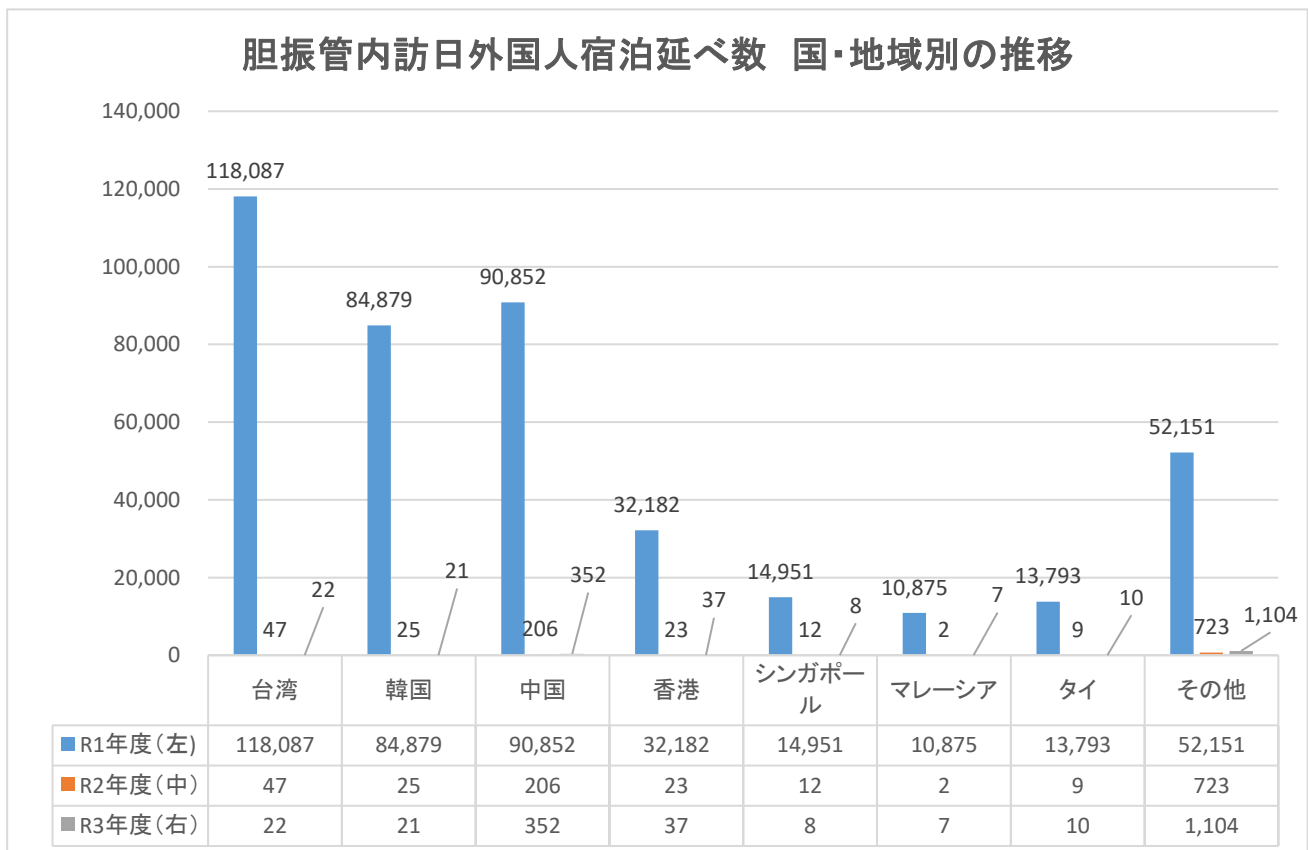
順位	国・地域	令和3年（2021年）度上期宿泊者数 （延べ数）		前年同期比	前年度上期 からの増減数
			構成比		
1	フィリピン	359	23.0%	579.0%	297
2	中国	352	22.5%	170.9%	146
3	アメリカ	38	2.4%	37.6%	▲63
4	香港	37	2.4%	160.9%	14
5	台湾	22	1.4%	46.8%	▲25
	その他	753	48.3%	123.8%	145
	合計	1,561	100%	149.1%	514

【参考資料 1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10年度～）

（単位：人泊）



【参考資料 2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（主な国・地域別）（単位：人泊）



※R2年度、R3年度については、宿泊者数（延べ数）が少ないため、グラフには現れておりません。